

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役

橋本 健一郎



10月のアルミ概況及び11月の見通し(3)

■国内概況まとめ

◆自動車生産

生産動態統計によると9月の自動車生産台数は、前年比・10.1%の72万5577台。輸出は、前年同月比・10.5%の34万8171台。

◆自動車販売

日本自動車販売協会連合会によると10月の自動車販売台数(軽除く)は、前年比+6.6%の25万9132台。

◆住宅着工戸数

9月の新設住宅着工は、貸家が増加したが、持家、分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比0.6%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比3.0%の増加となった。

○新設住宅着工戸数は68,548戸

前年同月比0.6%減、5か月連続の減少

○新設住宅着工床面積は5,223千㎡

前年同月比2.3%減、5か月連続の減少

○季節調整済年率換算値では800千戸

前月比3.0%増、3か月連続の増加

◆アルミ圧延・押出品生産数

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は、前年比・1%の13万9426 t、2か月連続マイナス。

板は生産・出荷ともプラス。半導体製造装置向けの厚板を含む「その他」が二桁プラスとなった。他にも「缶材」「自動車」以外の内需が好調だった。

押出は生産・出荷ともにマイナス。最大用途の「建設」は住宅着工戸数の減少の影響によりマイナスを継続。

板類 8万6493 t +1.1% プラスに反転

押出類 5万2933 t -4.4% 2か月連続マイナス

◆アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績

前年比・8.2%の5万8335 t。2か月連続のマイナス。出荷は・9.2%の5万8744 t。2か月連続のマイナス。

◆輸出

新地金 -24.9% 211 t

二次合金 +175% 1795 t

スクラップ -32.3% 2万3782t

アルミ缶 +52.6% 9152 t

◆輸入

新地金 -4.6% 7万3327 t

二次合金 -6.9% 8万625 t

スクラップ +4.6% 640 t

合金スクラップ +27% 6739 t

■見通し

◆自動車

9月の自動車生産が-10.1%。10月国内販売台数が前年比+6.6%。販売が再び増加。生産は3か月ぶり減少。ここ数か月は増加減少を繰り返しておりコロナ挽回生産の目はなくこの水準で落ち着く。

◆アルミ圧延・押出品生産数

日本アルミニウム協会発表の圧延品生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は、前年比・1%の13万9426 t。2か月連続のマイナス。板は生産・出荷ともプラス。半導体製造装置向けの厚板を含む「その他」が二桁プラスとなった他、「缶材」「自動車」以外の内需が好調だった。押出は生産・出荷ともにマイナス。最大用途の「建設」は住宅着工戸数の減少の影響によりマイナス継続。

板類 8万6493 t +1.1% プラスに反転

押出類 5万2933 t -4.4% 2か月連続のマイナス

■スクラップ景況予想

流通(一次問屋)在庫はLME価格が2,500~2,600ドル台とレンジ内だったことから出荷し在庫薄。需要面に関しては先月の相場低迷による持ち込み量の減少から在庫薄。

■LME・為替予想

今月は以下の項目に左右される。

●中国の景気動向

中国全人代での大規模景気刺激策に期待。S&P 5日発表した10月の中国サービス部門購買担当者景気指数(PMI)は52.0と、前月の50.3から上昇し、3か月ぶりの高水準となったことから中国経済を支える可能性が高いのではないかと予想している。

●米大統領選

いわゆるトランプトレードは盛んになり流動資金が金属から抜け下落する可能性は高い。ただ、その後は景気回復への期待から相場は戻ると予測。

これらを踏まえた今月のアルミ価格は、2,400~2,700ドル(セツル)と予想。

ドル円値は145円~155円(TTM)台を予測。

スクラップ購入価格に関しては、+5~+10円程度と予想している。

(おわり)